

環境経営レポート

42期（2024年度）

2023年10月1日～2024年9月30日



発行日 2024年12月26日



目次

1. ご挨拶	1
2. 会社概要	1
3. 環境への取り組み	
3.1 環境経営方針	2
3.2 推進体制	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営活動の取り組み内容	5～8
6. 環境経営活動の取り組み結果	9,10
7. 環境法規等要と遵守状況	11
7.1 法令・条例一覧と該当可否判断	
7.2 環境関連法規への違反、訴訟の有無	
8. 環境経営者による評価と見直し	12
9. 中期環境経営目標	13
お問い合わせ・地図	14

1. ご挨拶

経営理念

売り手良し・買い手良し・世間良し

私たちヒル・プリントは

一、社員と共に成長します

一、お客様に満足を提供します

一、豊かな社会作りに貢献します

希望 目標

1. 新製品の開発

2. 新事業の開拓

3. 信頼される企業になる事

4. 信頼される人材の育成

希望、目標を達成し社会に貢献する企業になる事は、使命であります。

個人に於いても希望・目標を設定し、達成することが生まれ甲斐のある人生、
生き甲斐のある人生であると思います。

これからも社員一同一丸となって「進化と向上」を目指して頑張っていく所存です。

ヒル・プリント株式会社

代表取締役社長

上野 明彦

2. 会社概要

(1) 事業者名

ヒル・プリント株式会社 代表取締役 上野明彦

(2) 資本金 1000万円

(3) 設立 1983年（昭和58年）5月12日

(4) 事業内容 フィルムの印刷

熱転写フィルム、インサートフィルム、同時成型転写
加工、転写シールの印刷加工、熱転写フィルムの転写
加工、上記業務に関するデザイン・企画

(5) 事業拠点

本社

〒520-3047 滋賀県栗東市手原4丁目6-10

TEL 077-552-5556 FAX 077-552-6639

東京営業所

〒120-0036 東京都足立区千住仲町4-6-10

和光ビル706

TEL 03-3865-0225 FAX 03-3865-0226

名古屋工場

〒490-1144 愛知県海部郡大治町西條壱町田53

TEL 052-442-1510 FAX 052-442-1520

(6) 企業の規模

42期売上 399百万円

従業員数 25人 （内パート 5人）

事業所延床面積

1808㎡（本社184㎡ 東京営業所56㎡ 名古屋工場1568㎡）

(7) 認証範囲 全組織 全組織

(8) URL <http://www.hillprint.co.jp>

(9) 環境関係の担当者連絡先

環境管理責任者 名古屋工場 技術部 部長 山田雅之

TEL 052-442-1510 FAX 052-442-1520

3.環境への取組み

3.1環境経営方針

環境経営方針

私共ヒル・プリント株式会社は昭和58年創業以来、転写フィルムをはじめとする、プラスチック製品の装飾に必要な副資材の「製造 販売」の実績を重ねてまいりました。私共の社員にとって、ヒル・プリント株式会社は、生活の糧を得るだけの場所ではなく、仕事に従事することを通して、希望と目標を持ち、やりがいを得て、人として成長することができる、豊かな場所であってほしいと考えております。

そして企業としての努力を怠らず、より良い製品を、早く、安く、ご提案と共に、お客様へご提供しなくてはなりません。お客様にご満足頂ける事で、我々は転写業界に貢献することが出来、必要とされる存在になれるものと考えております。

また、私共の印刷物が、世の中に出た時に、印刷の美しさや性能で、一般の消費者の皆様にもご満足して頂き、長くご愛用して頂けるものを作り続けなければならないと考えております。ヒル・プリント株式会社は、創業当初から近江商人の「三方良しの精神」に基づき歩んで参りました。「売り手良し 買い手良し 世間良し」の精神の元に、今後も成長し続ける企業経営を行えると確信しております。

取組指針

1.当社のものづくりが環境に与える影響を認識し、環境経営目標を定めて社員一同一丸となって継続的な環境改善に取り組みます。

- ①お客様への企画提案・校正・高品質な印刷・アフターサービスを通じて、環境にやさしい製品の提供に努めます。
- ②ものづくりに伴う省エネルギーを推進し、CO2排出の削減に努めます。
- ③印刷製造における水使用量の節水に努めます。
- ④印刷・後加工に使用する原材料・副資材の使用量の削減に努めます。
- ⑤製造工程からの廃棄物の削減及びリサイクルの推進に努めます。
- ⑥製品トラブルによる再印刷を減少させ、環境負荷の低減と経費削減に努めます。

2.環境に関する法律・条令・規制・協定、及び当社が決めた外部からの要求事項を遵守します。

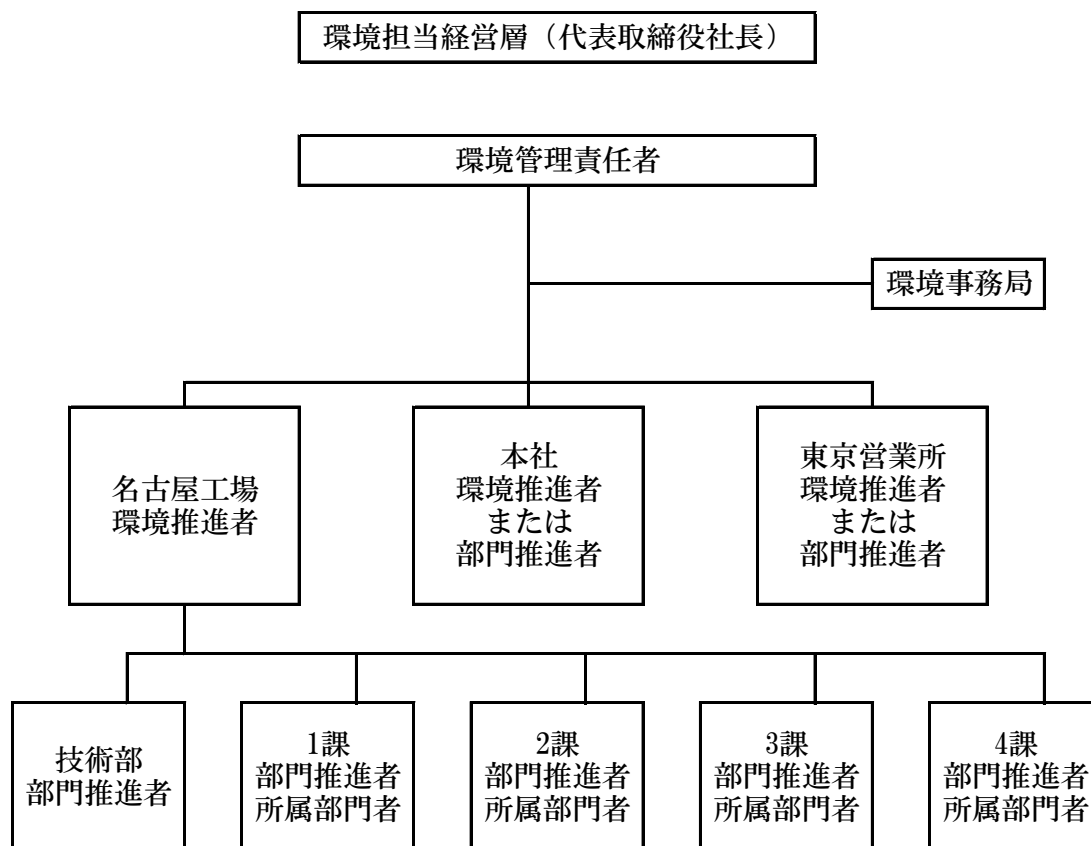
3.全社員に対し、環境経営方針を周知徹底し、環境保全に対しての意識向上を図ります。

制定 2014年 5月1日
改定 2019年 10月1日
二次改定 2023年 10月1日

ヒル・プリント株式会社
代表取締役社長

上野 明彦

3.2推進体制



役職	役割・責任・権限
環境担当経営層	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備
	・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し
	・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境方針の全社員へ周知
	・環境関連法規等の取りまとめ表を確認 ・環境目標・環境活動計画書を
	・環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境活動責任者の業務補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施
	・環境目標、環境活動計画書の原案作成 ・環境活動の実施集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の原案作成 ・法令遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの原案
環境推進者	・各拠点の環境活動の取りまとめ
部門推進者	・部門内の環境活動の取りまとめ ・部門の環境活動の実績集計
	・緊急事態への対応のための準備と訓練の実施
	・問題点の発見、改善提案、是正、予防処置の実施
所属部門	・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4.環境経営目標

環境経営方針	取組項目	第1四半期 10月～12月	第2四半期 1月～3月	第3四半期 4月～6月	第4四半期 7月～9月	43期目標
お客様への企画提案・校正・高品質な印刷・アフターサービスを通じて、環境にやさしい製品の提供に努めます	環境負荷の少ない熱転写フィルム製造工程の構築	色出し用フィルム17 μ 使用 製品フィルム25 μ ⇒23 μ 継続検討				100%
ものづくりに伴う省エネルギーを推進し、CO2排出の削減に努めます	売上高当たりの二酸化炭素排出量の削減（kg・CO2/万円） 本社リコージャパン2017年 係数0.499kg-CO2/kWh 名古屋 東邦ガス 係数0.483kg-CO2/kWh 東京 東京電力2017年 係数0.462kg-CO2/kWh	・ 不要時不要箇所の電気消灯 ・ LED導入検討 ・ エアコン節電対策 ・ 営業車エアー圧チェック ・ 再生エネルギーの購入				6.1kg・CO2/百万円
印刷製造における水使用量の節水に努めます	売上高当たりの製造工場（名古屋工場）の水の使用量の節水(mg3/百万円)	・ 朝礼等による節水の呼びかけ ・ 蛇口水漏れ点検実施 ・ 使用蛇口に節水ポスター掲示 ・ 節水蛇口の採用検討				0.96m ³ /百万円
印刷・後加工に使用する原材料・副資材の使用量の削減に努めます	化学物質の取扱量把握と、適正量の保管	・ 化学物質使用量の管理改善 ・ 有害物質非含有代替材料調査 ・ 取り扱い方法の整備 ・ 危険物倉庫の定期点検実施 ・ インク、溶剤の適正在庫量検討				適正在庫
製造工程からの廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努めます	産業廃棄物の分別を徹底し、埋立・焼却から再資源化に変更推進（リサイクル率%）	・ 産業廃棄物分別表示の見直し ・ 産業廃棄物分別の徹底 ・ 産業廃棄物分別場所の整理 ・ 梱包パレットの再利用の徹底 ・ 本社と東京営業所は事業用一般廃棄物の削除活動展開				85%以上
廃溶剤を再利用し、廃溶剤の削減に努めると共に、購入溶剤の減少を促進します	廃溶剤の再生利用実施	・ 再生溶剤を、1日2缶作成実施				6382kg 同水準
不良の減少に努めます	不良と再印刷の減少 廃棄物の削減 新規資材の使用量削減 再印刷量の把握	・ 不良の原因の特定 ・ 改善案と対策を確立する ・ 再印刷量の把握				40000m

5.環境経営活動の取組み内容

(1) 環境にやさしい製品の提供に努める（名古屋工場）

- ①環境対応色出し用フィルムの17 μ 採用 ⇒ 100%達成 維持継続
- ②ノントルエンインク検討開始
- ③ノンMEKインク検討開始
- ④製品フィルムの25 μ ⇒23 μ への変更検討開始



(2)ものづくりに伴う省エネルギーを推進し、CO2排出を削減する（全組織）

電力使用量の削減（全組織）

- ①不要時不要箇所の電気消灯の徹底（照明器具ごとにスイッチ設置）
- ②使用しないパソコン・プリンターの電源をOFFにする
- ③夏季エアコンの温度を28℃にする
- ④冬季エアコンの温度を20℃にする
- ⑤エアコンのフィルターの掃除を実施する
- ⑥LED照明の導入中



照明スイッチの消灯表示



エアコンの設定温度表示



パソコン電源OFF

化石燃料使用量の削減（本社・名古屋工場）

- ①自動車のアイドリングストップを実施する
- ②自動車の急発進、急加速を行わない
- ③自動車の空ぶかしを行わない
- ④営業車のタイヤのエア圧チェック
- ⑤自動車に不要な荷物を積まない
- ⑥自動車に積載オーバーしないこと



名古屋工場の掲示



本社の駐車場前の掲示

(3) 印刷製造における水使用量の節水に努める（名古屋工場・本社）

- ①朝礼による節水の呼び掛け
- ②蛇口水漏れ点検の実施
- ③使用蛇口に節水ポスター掲示
- ④節水蛇口の採用検討



節水の掲示

(4) 原材料・副資材の使用量の削減に努める（名古屋工場）

- ①化学物質使用量の管理改善
- ②劇物保管場所の表示
- ③取扱方法の整備
- ④危険物倉庫の定期点検実施
- ⑤インク、溶剤の適正在庫量検討



危険物屋内貯蔵所



劇物保管表示と在庫管理台帳 保管状況



(5) 廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努める（全組織）

- ①分別場所の指定（ラベル表示）による分別の徹底
- ②廃棄物の分別と有価売却の推進
- ③ゴミを出さない工夫（例：コピー用紙両面印刷励行による紙の削減）
- ④通い箱の採用とパレットの再利用検討
- ⑤梱包材等の見直し
- ⑥廃棄物置場の整備（廃棄物保管庫の設置）：名古屋工場 事務所前と印刷工場前）



（名古屋工場）職場内から出る廃棄物の分別の徹底

コピー紙両面印刷



廃プラ保管庫の設置



廃プラ保管庫内



廃棄物保管庫設置



廃棄物保管庫内



(本社) 廃プラ一時保管場所の整備



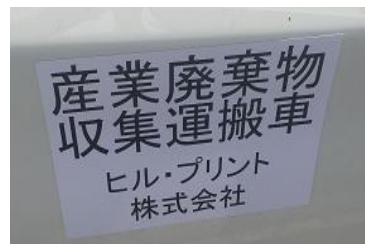
(本社) 一般廃棄物置場の整備



(東京) 一般廃棄物の分別

(6) 法令遵守状況の事例(全組織)

- ①危険物施設の安全管理徹底による災害防止により表彰された
- ②本社から排出される廃プラの量が少ないため、名古屋工場へ搬送し産業廃棄物として一括処理する



本社から名古屋工場への産業廃棄物運搬時の掲示

(7) 職場内の環境保全意識向上活動(全組織)

- ①職場内に環境方針の掲示
- ②環境活動事例の掲示



環境方針の掲示



(東京) 環境掲示



(名古屋工場) 環境活動事例の掲示

(8) 環境緊急時対応訓練(全組織)

- ①定期的な消防活動訓練
- ②地区ごとの防災対策と避難経路の確認
- ③工場内避難経路の確認と避難用具の使い方の確認



大治西小学校社会見学

毎年恒例行事となっております。大治西小学校3年生の生徒さんが来社。工場見学と仕事内容の説明会を実施。



名古屋工場の防災マップの周知



本社の洪水ハザードマップの周知



東京営業所の震災に備えての周知

6.環境経営活動の取組み結果

・環境対応色出し用フィルム使用率



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
100%	100%	100%	100%	従来の20 μ フィルムから、環境対応17 μ フィルムへの切り替えを、32期後半（2014年6月）から使用開始し、現在まで継続して100%達成している。

・二酸化炭素排出量（売上高399百万円あたり） 単位＝kg・CO2/百万円



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
6.5	6.2	本社 0.38	93%	売上に大きく影響を受け、達成できなかった。 来期からは、CO2フリー電力の入った電力プランを一部導入する。 また、刷り直しを減らすこと。特にこのことに重きを置き対策していく必要がある。
		名古屋 6.16		
		東京 0.09		
		合計 6.64		
		CO2総数量 382,720kg-CO2		

・水使用量（売上高399百万円あたり） 単位＝m3/百万円



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
0.9	0.97	0.79	122%	売上に大きく影響を受ける。 また、刷り直しを減らすこと。特にこのことに重きを置き対策していく必要がある。

・原材料・副資材使用量削減の推進



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
達成	○	○	○	化学物質の把握と、自社製SDSを発行し管理を徹底した。再生溶剤においても、36期より増量している。また、特色作成時には極力混合インキを使用し、在庫の削減に努めた。 全従業員が21人を超えている為、PRTR法の排出量届けと、愛知県条例の取扱量届けを、41期も届出した。 毒劇物取扱法の劇物に該当する副資材を把握し、「医薬用外劇物」表示と、入在庫在庫量把握の台帳管理を継続実施した。使用済シンナーの再生利用を引き続き継続した。

・産業廃棄物のリサイクル率（産廃総排出量94,249kg）



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
93%	85%維持	95%	112%	産業廃棄物のリサイクル率は安定して85%以上を維持している。今後も継続していく。

・化学物質使用量（インキ購入量）



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
99,081kg	適正管理		○	

・刷り直し数量削減



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
90,500	45,000	34,900	129%	目標は達成しているが、前期と比較すると大幅に増えている。刷り直し原因を追求し解決させる。

・再生溶剤量



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
5306kg	同水準	6,079	115%	目標を達成できた。ほぼフル稼働していること、休日は年々多くなっていることを考慮すると、6000kgを下回るくらいが妥当な数値かと思います。 今後においても、今期同様にフル稼働させて、廃溶剤の減少と購入溶剤を減らすことに努めたいと思います。

1kg=176円

・環境保全意識向上活動



基準年度 39期	目標値	実績値	達成率	評価及び今後の取組み内容
達成	達成	-	-	環境方針や省エネ・節水等の掲示を全社で徹底した。

7.環境法規等要求事項と遵守状況

7.1法令・条例一覧と該当可否判断

法律・条例・その他要求事項		該当・非該当の区分	
		名古屋工場	本社・東京営業所
水質汚濁防止法		排出水の排出制限（排水基準）	（非該当）
浄化槽法		8人槽 定期点検・清掃・法定検査	（非該当）
下水道法		（非該当）	排出水の排水制限（排水基準）
悪臭防止法		特定悪臭物質（酢酸エチル、トルエン、MIBK） 規制基準の遵守、事故時の措置	（非該当）
騒音規制法		コンプレッサ 11kW2台 7.5kW 1台 工業地域 敷地境界線で測定	（本社）コンプレッサ 14kW1台 敷地境界線で測定 （東京営業所 非該当）
廃棄物の処理および清掃に関する法律		運搬・処理業者との契約、適正保管と表示、処理の現地確認、マニフェスト管理と交付状況報告、自車運搬時の表示	（本社）名古屋工場に運搬するまで適正保管、自車で名古屋工場に運搬（自車に産廃運搬の表示） （東京営業所 非該当）
毒物および劇物取締法		劇物（MEK、MIBK、メタノール） 薬品種類の表示と適正管理	（非該当）
特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律 （PRTR法 排出量届出） （愛知県条例 取扱量届出）		トルエン・キシレン・メチルエチルベンゼン取扱量と排出量把握、SDS管理 PRTR法 届出該当 愛知県条例 届出該当	（非該当）
有機溶剤中毒予防規制		第二種有機溶剤 該当 （作業環境測定）（特殊検診）	（非該当）
エネルギー使用の合理化に関する法律		節電・節水等厳守	節電・節水等厳守
消防法		危険物屋内貯蔵所 該当 LPガス貯蔵施設 該当	（非該当）
高圧ガス保安法		LPガス貯蔵施設 管理委託	（非該当）
ボイラ及び圧力容器安全規制		小型貫流蒸気ボイラ	（非該当）
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律		冷凍式ドライヤ搭載圧縮機 エアコン8kW4台（定期点検） 7.5kW未満9台（簡易点検）	（本社）エアコン 該当 （定期目視点検） （東京営業所 非該当）
使用済自動車の再資源化等に関する法律		営業車 該当（エコカー導入）	（本社）営業車 該当（エコカー導入） （東京営業所 非該当）
家電リサイクル法		エアコン、冷蔵庫 該当（減却時対応）（TV、洗濯機なし）	（本社）エアコン、冷蔵庫、TV 該当（減却時対応） （東京営業所 該当設備なし）
資源の有効な利用の促進に関する法律		パソコン 該当（減却時対応）	パソコン 該当（減却時対応）
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律		小型電子機器 減却時該当 （大治町役場に持ち込み）	小型電子機器 減却時該当 （本社）栗東市庁舎に持ち込み （東京営業所）回収センターに持ち込み
愛知県 条例	県民の生活環境の保全に関する条例（駐車場設置者）	駐車場の原動機停止周知 非該当（駐車場面積 少）	（非該当）
海部東部防火危険物安全協会		参加（危険物施設の保守管理 安全管理者普及徹底）	（非該当）

7.2環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況について、確認・評価したところ、すべて適合しており、過去3年間に於ける環境に関する違反、苦情、訴訟等の指摘ありませんでした

8.環境経営者による評価と見直し

代表取締役社長 上野 明彦

2024年12月26日

評価

1	色出し用フィルム	17μの環境に配慮したフィルムを100%使用できている。
2	CO2排出量	目標達成に及ばなかった。やはり売上の増減に影響を大きく受ける。来期からはCO2フリー電気を一部導入する。
3	水使用量	目標達成した。引き続き達成できるよう努力すること。
4	適正在庫量の検討	化学物質の在庫量の把握と、最新のSDSチェックを重点に活動した。新しい種類のインキがある場合はSDSを入手すること。
5	産業廃棄物リサイクル率	目標達成した。今後も85%以上の達成率を維持すること。
6	法令・協定等の遵守	適正に遵守できている。今後も法令改正情報に気を配り、法令を遵守すること。
7	刷り直し数量	目標達成した。刷り直しは利益とエコに多大な影響を与えるため、可能な限りなくすこと。
8	再生溶剤	目標達成できなかったが、目標は37期と同水準である為、95%の達成率は同水準かと思う。再生溶剤もフル稼働している。今後は休日が増える中だが、37期と同水準を目指すこと。

総括

42期の、「環境経営活動計画兼実施報告書」では、ほとんどの項目で目標を達成できたが、CO2排出量のみ未達成だった。この項目は売上の影響を大きく受ける。来期からは、当初から課題に挙げていた再生エネルギーを一部導入する。CO2排出量の削減にも期待できる。また、以前から課題に挙げていたバイオマスインキの導入も、一部商品ではあるが切り替えた。数字としては表れないが、環境対策としては着々と進んでいる。今後の課題として、工場内のLED化が残っているが、費用が大きいため要検討とし実現に向けて行動する。

代表者による変更の必要性の判断

	変更の必要性判断項目	変更判断	備考
1	環境経営方針	有 ・ 無	
2	環境経営目標	有 ・ 無	
3	環境経営活動計画	有 ・ 無	
4	実施体制	有 ・ 無	12

9.次年度の目標と中期環境経営目標

* コロナと転写機導入により目標値を下方修正する。

中期環境経営目標（45期まで）	取組み項目		基準年度 39期	42期	43期	44期	45期
お客様への企画提案・校正・アフターサービスを通じて、環境にやさしい製品の提供に努めます	色出し用フィルム17 μ 使用 製品フィルム25 μ ⇒23 μ 継続	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値		100%	100%	100%	100%
		結果		達成	達成	達成	達成
・コロナの影響と転写機導入を考慮して39期より目標値を下方修正。1期ごとに0.1%削減に修正する。 ・電力・ガス・ガソリン 39期 6.5kg・CO2/百万円 達成 →42期 6.2kg・CO2/百万円 未達成 東邦ガス0.483 リコージャパン0.499 東京電力0.462 LPガス3kg-CO2/kg	売上高当たり CO2排出量 (39期) 6.5kg・CO2/百万円 (283,561kg・CO2)	目標値	6.5 kg・CO2/ 百万円	6.2	6.1	6	5.9
		実績値		6.64			
		結果		93%			
・コロナの影響と転写機導入を考慮して39期より目標値を下方修正。1期ごとに0.01%の削減に修正する。 39期 1.0m3/百万円 達成 →42期 0.97m3/百万円 達成	売上高当たりの製造 工場の水の使用量 (39期) 1.0m3/百万円	目標値	1.0 m3/百万円	0.97	0.96	0.95	0.94
		実績値		0.79			
		結果		122%			
①副資材に含まれている化学物質の把握徹底 副資材の適正在庫管理 ノートパソコン確立と、副資材の最新版SMSの整備 ②環境にやさしい製品の提供 ノントルエン・ノンMEKインクの使用率向上検討再開による新規採用と有害化学物質の削減する推進	適正在庫の把握 副資材のSDSの最新版 チェック	目標値	1回/年の副資材 保管量把握で、 適正在庫の確 認と環境配慮副 資材の採用検討	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
		実績値		適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
		結果		達成	達成	達成	達成
製造工程から出る産業廃棄物のリサイクル率を35期を基準として、45期まで85%以上を継続維持する。 35期 85%以上 →42期 85%以上 継続維持	産業廃棄物の リサイクル率 (39期) 93%	目標値	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上
		実績値		95%			
		結果		112%			
廃溶剤を再生利用し、廃溶剤の削減に努めると共に、購入溶剤の減少を促進します。同水準を維持。	1日2缶の廃溶剤を 再生利用	目標値	5306kg	基準年度維持	基準年度維持	基準年度維持	基準年度維持
		実績値		6,049			
		結果		114%			
不良の減少に努め、再印刷によるコストを削減すると同時に、水使用量・二酸化炭素排出量の削減に繋がります。 39期 90,000m →42期 45,000m	・密着不良の改善 ・印刷美観の改善 ・印刷条件の見直し	目標値	90,000m	45,000m	40,000m	36,000m	32,000m
		実績値		34,900m			
		結果		129%			

お問い合わせ・地図

本社
〒520-3047
滋賀県栗東市手原4-6-10
TEL 077-552-5556
FAX 077-552-6639

東京営業所
〒120-0036
東京都足立区千住仲町19-6 和光ビル706



名古屋工場
〒490-1144
愛知県海部郡大治町西條壱町田53
TEL 052-442-1510
FAX 052-442-1520



連絡先

環境管理責任者

環境管理事務局

ヒル・プリント株式会社
電話番号 052-442-1510
技術部 部長 山田 雅之
Email coater@hillprint.co.jp
経理部 栗田 学
Email kurita@hillprint.co.jp